

**安倍やメロ！麻生もやメロ！
ウソつきやめろ！
緊急行動に450人**

6・7緊急行動に450人が駆けつけました。JKK京都革新懇など職場・地域革新懇も参加しました。

京都市役所前集会では6人の方が発言しました。自由法曹団の渡辺弁護士は、「安倍首相はどうみてもウソをつけている。官僚も国会で何回もウソをついてきた。うそにウソを重ねる政治はやめてもらおう。」と怒りを込めて訴えました。過労死家族の会の中島さんは、

「夫は過労死で亡くなった。過労死を法律で促進するのは許せない。家族の会は国会で意見陳述、傍聴、座り込み等やっている。廃案まで頑張る。」と決意を語りました。レックドアクションの吉田弁護士は、「はめられてる、セクハラ罪は無い、などと麻生大臣は言い、国のトップがセクハラ加害者を擁護している。安倍首相はこのことでは何も言わない。政権の中枢にいる資格は無い。」と厳し



く批判しました。左京市民アクションの内富さんは、「百万遍から50人でデモしてきた。地域デモを繰り返している。反応も良くなっている。白井聡さんを講師に学習会をやり直後には鴨川で車座ミーティングをやり。一層の運動の交流を図っている。」と活動紹介を行いました。京都1000人委員会の新開さんは、「米朝会談がある。安倍は国難だと言って選挙をやった。アジアの緊張を煽り改憲を叫んでいる。全くデータラメで逆行している。貧困と格差を煽る、働き方改革やカジノなどこんな経済政策はありえない。」と厳しく批判しました。京都1000人

委員会の中尾さんは、「韓国では百万人のロクデモで政権を倒した。日本でも国会を包囲し津々浦々で安倍やメロの声を5倍・10倍と広げ日本の民主主義を守っていきましょう。」と訴えました。

司会者から、「3000万署名は京都では27万8000筆に達した。60万めざして頑張ろう」と訴えられました。

集会後参加者は、「安倍内閣は総辞職!」「安倍やメロ!麻生もやメロ!」「政治の私物化許さない!」

とシブプレヒコールを行い四条河原町まで元気よ

くデモ行進し市民に訴えました。(越智)

**安倍9条改憲NO!左京市民アクション開催
5・25 白井聡氏(京都精華大学教員)講演
5・29 鴨川三角公園 車座 憲法ミーティング**

白井氏講演

白井聡氏の講演は「日本の政治はなぜ劣化するのか」がテーマ。このテーマで講演会を企画した時(3月)は、朝日新聞が森友改ざん文書について

報じ、すべてのテレビチャンネルで連日大きく取り扱っているさなかでした。5月下旬、果たして安倍政権はどうなっているのか、総辞職に追い込まれ

ているやも!そんな情勢下、9条改憲問題に限定したテーマでは、市民の感覚にフィットしないのでは。そこで、とにもかくにも上のテーマでチラシを作成、宣伝へ。

当日は、京大のタテカンが強制撤去された直後でもあり、「タテカン・改憲・国体」と題して白井氏は講演。いくつかの指摘を要約します。タテカン問題は屋外広告物条例に違反しているかどうかという瑣末なことがらでなくまさに「国体」との関係の象徴。権力批判

につながるザワツキを嫌い、規制抑圧する。戦前戦後を通じて支配者は従順な日本人であることを期待し、戦後はアメリカに従属していることに流されてしまっている。これを打ち破ることが求められる、と。

会場販売の「国体論―菊と星条旗―(集英社新書)が30冊完売となりました。

**京都革新懇
事務局通信**

京都革新懇事務局通信第116号
発行日 2018年6月9日(土)
発行責任者 越智薫史 〒601-8103
京都市南区上鳥羽仏現寺町43
京都高齢者会館3F
TEL/FAX共用 075-606-1523

車座ミーティング

9の付く日の左京アクション企画で5月29日夕方5時から7時までお互い討論し交流し自分たちが「気持ちよくかしこくなるう」、とともに「憲法の問題を話し合っているグループ」なんてあるんだ、と市民に知らせられたいね、と出入り自由で2時間開催。



日頃思っていること腹の立つことを全員が発言。3000万署名では回収ポストを設置して2500の署名を集めた経験やいたる所で署名板をもち自らノルマを課して500筆集めた経験も報告されました。山科や中京の市民アクションからの報告もありました。

帰還兵がPTSDや精神障害に陥り家族も巻き込んで悲惨な生活を強いられている現実、戦争の真実が話されました。

「憲法のある未来がいいね。」
「Love 憲法」と新宿の街を「L」

6/4 若者憲法集会

2018年6月4日、東京にて今年も若者憲法集会が開かれました。午前中は8つの分科会が開かれ、午後からは上野にてメイン集会（1100人）を開催、夕方からは新宿周辺でデモ（2000人）が行われました。京都からは15人が参加しました。

河原の初夏の夕風をあびながら心地よい車座ミーティングとなりました。（板東利博）

て語り合いました。はじめに諏訪原さんが「これからは若者として一括りにできない時代。個人として活動に参加していく時代。」と語りました。あそぼせるデモからは「実感から生まれたコールが気に止まって、労働問題に興味を持ってほしい」と声が出され、DAPPEからは「若者と候補者とがいつしよに活動

分科会の3、地域から広げる民主主義では元SELD Sメンバーの諏訪原健さんが司会を務め、京都からはあそぼせるデモ、福島からはDAPPE、東京都からジャック・ザ・多摩セン、民青岩手県委員会の代表者が各地の活動につい



する絵を作っていきたい」、ジャック・ザ・多摩センからは「無党派層も党派のある人もいつしよに活動をやっていきたい。趣味として活動を勧めたい」、民青岩手県委員会からは「上下関係のない組織で、民主的な雰囲気の中で労働アングレートを集めると決めた。プロセス自体が民主的でないといけない」と語りました。会場からは、青森から出てきたばかりで活動の経験があまりないという青年が、「デモに参加してもおじいさん、おばあさんばかりで、若い人がいない。選挙に友人を誘っても、興味を持ってくれない。そういう人たちにはどうアピールすればいいのか」と難しい質問が出され、回答に困る場面が見られました。

するための署名と熱く語りました。3000万筆の目標設定は、以前2000万署名を集めた際に集まった1580万筆と、前回の総選挙での立憲民主党の得票数1100万、共産党の得票数440万、その他の立憲野党の得票数220万を足した数と説明して話を終えました。メイン集会後は都庁前に移動して、デモを開始しました。途中新宿駅南口付近で妨害があったものの、無事に通過し、「憲法のある未来がいいね。」「I LOVE 憲法」といったコールを新宿の街に響かせて終了しました。（野口あつ子）



いよいよ
京北革新懇が発足

京北革新懇が7月19日

（木）に発足します。京北革新懇準備会を昨年9月に開催して以来4回の準備会を重ねてきました。いよいよ発足に至るものです。右京区京北地域にぜひ革新懇を作りたいと毎回ほぼ全員参加で準備を進めてきました。日時は次の通りですが、詳しい開催要項はこれからです。後日お知らせがあります。

名称：
京北革新懇発足総会（仮称）
日時：
2018年7月19日（木）
午後1時半～
会場：北桑田教育会館（京北町周山）



「アベ辞めろ」京都市役所前集会（7日）デモ行進に参加する京北革新懇事務局とJKK京北革新懇メンバー